

式辞

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。そしてこれまで、愛情をもって支えてこられた保護者の皆様に、心よりお祝い申し上げます。

1908 年創立の本校は、長い歴史と伝統を重ね、今年度創立 118 年目を迎えます。そして、「夢をかたちに、いきいき川高」をスローガンとし、「生徒一人一人が主役として輝く学校」を目指して、様々な教育活動に取り組んでいます。

さて、新入生の皆さん。皆さんは、明確な夢を持っているでしょうか。また、皆さんはどのような理由で川之江高校を選んだのでしょうか。「大学に進学したい」「部活動を頑張りたい」「友達が行くから」「家から近いから」など、理由はいろいろでしょう。既に具体的な目標を持っている人もいれば、何となく入学した人もいると思います。また、中学時代に、もっといろいろなことを頑張れたと思っている人もいるのではないのでしょうか。そのような人は、高校に入学した今こそ、自分を変える大きなチャンスです。

そこで、新入生の皆さんに、一つ言葉を贈ります。「夢は夢にあらず」。自分を成長させる一番の近道は、夢や目標を持つこと、「なれる自分」ではなく、「なりたい自分」になることです。そして、「なりたい自分」になるためには、自分を律し、夢や目標に向かって努力を積み重ねることが必要です。また、目標が高ければ高いほど、誰にも負けない努力を続けなければなりません。郷土の儒学者である尾藤二洲先生は、「学は人たる所以を学ぶなり」と述べています。これは、学ぶということは単に知識を増やすことではなく、「人としてどう生きるか」を学ぶことである、という意味です。高校では規律を重んじ、その中で、自分に厳しく、周りに優しい人に成長していきましょう。

本校には、橘サマースクール、グローバル人財育成事業、川之江先輩塾など、多様な学びの機会があります。さらに、部活動や探究活動も充実しており、自分を高める舞台がたくさん用意されています。これらを積極的に活用し、高校三年間で、自らの人生を切り拓く力を身に付けることを期待しています。何もしない人は、失敗をしませんが、成長もせず、夢は夢のままです。本校は、生徒一人一人が主役になれる学校です。「夢は夢にあらず」。それを現実にできるかどうかは、皆さんの意思と行動にかかっています。失敗を恐れず、変化を恐れず、自分の可能性を信じて、「なりたい自分」を目指しましょう。

最後になりますが、保護者の皆様、生徒一人一人が「川之江高校に入学して良かった」と実感できるよう、教職員一同尽力いたします。大切な子どもたちのために手を取り合ってまいりましょう。これから三年間、何とぞよろしくお願いいたします。

新入生の皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。その未来が実り多きものになることを心より願い、式辞といたします。

令和 8 年 4 月 8 日 愛媛県立川之江高等学校長 合田明典